

エコ・あぐり・タウン くねっぴ 応援団だより

令和4年2月28日発行 NO.56

訓子府町の「ふるさと応援団」にご参加いただき、ありがとうございます。
皆さまと訓子府町を結ぶ便りにできればと考えております。

訓子府町の四季 ~冬季~



北海道常呂郡訓子府町東町398番地

訓子府町役場企画財政課

Tel 0157-47-2115

Fax 0157-47-2600



札幌オリンピック誘致の陰で 「安心して住み続ける事ができる除雪体制に向けて！」

毎日、北京オリンピックの速報やニュースが報道されています。私が「時計台の鐘が鳴る札幌市民」から訓子府町民になって今年で50年になります。1972年2月3日に札幌オリンピックが開催された年でもあり、急速に都市開発が進み70万都市から100万都市へ変化する時代でもありました。

2月16日北海道新聞夕刊、今日の話の囲み欄「五輪の陰で」のタイトルが目に入りました。かつて北見支社に勤務していた高須賀渉氏が執筆され、最後のくだりに『冬季五輪の誘致』を目指す札幌市は、理由の一つに街の再開発を掲げる。前回大会で地下鉄が開通するなど、都市の基盤を型作った夢をもう一度ということだろうが、「華やかな祭典の陰で失うものにも目を凝らしたい」と記してある。同じ時期に札幌の手稲に住む高校時代の同級生から手紙が届き、「札幌は雪が多く大変だ。札幌市は除雪の一部負担を市民に求め、我々のような年寄りには大変だよ」とボランティアで自宅の近所を除雪している同級生からは悲痛な声が聞こえてきます。さて「すべての町民にやさしい町」を掲げる訓子府町の除雪は、近隣市町村が羨む綺麗な除雪がされています。さらに一定の要件を満たす世帯は区分ごとの負担金額で道路から家の前まで除雪が行われます。町が除雪したあとの置き雪の除雪処理は悩みの種、町内会や町民から「何とかしてほしい！」の声が上がります。ここ数年、町の担当者と企業がこの難問解決に向けて知恵を出し合い、最終的に行政の仕事として除雪を行うことになりました。単純に札幌市と比較はできませんが「小さい町だからできる」自慢話でもあります。

一度、冬の訓子府町へ来てみませんか。

町長's Eye



応援団トピック

高知県津野町との姉妹まち締結 20 周年を記念して

高知県津野町との姉妹まち締結 20 周年を記念して、町民 40 人と小学生交換留学生 OB 4 人、町長、議長、職員ら合わせて 51 人が、11 月 13 日から 16 日まで姉妹まちを訪問しました。

15 日には、津野町で「記念式典」が行われ、両町のさらなる発展を誓い、両町民が交流しました。

高知城や坂本龍馬記念館（以上高知市）、吉村虎太郎邸、長沢の滝、満天の星加工所（以上津野町）などを見学。訓子府町を開拓した先人の故郷の一つである津野町を満喫しました。

記念式典・調印式

姉妹まち締結 20 周年記念式典・交流会では、「職員人事交流」の調印や記念動画「交流の歩み」が上映され、締結 20 周年を祝いました。

職員人事交流は、平成 24 年から始まり、10 年経過することに伴い、令和 4 年 4 月からさらに 10 年、人事交流を行うことを締結するものです。

交流会では、津野町長や議会議員などと交流し、楽しいひとときを過ごしました。



- ① 坂本龍馬像（桂浜）
- ② 高知城
- ③ かつお船
- ④ 星ふるワイレッシュ TENGU
- ⑤ フラネタリウム
- ⑥ 吉村虎太郎邸
- ⑦ 早瀬の一本橋
- ⑧ 津野山古式神楽
- ⑨ 開拓感謝の碑

